

**”コウノドリ”から学ぶ
母子保険・地域医療啓発講演会**

日時：平成28年5月29日（日）14：00～16：01

場所：瓦町FLAG8階 IKODE瓦町 健康ステーション大会議室

主催：高松市

後援：香川県医師会、高松市医師会、香川県産婦人科医会、香川県助産師会

概要：講師は、あの人気漫画「コウノドリ」の主人公のモデル。産科医でジャズピアニストという異色の経歴が織りなす講演&ライブ演奏。

プログラム：

- 主催者挨拶 高松市副市長 加藤昭彦
- プロローグ （1）妊娠期から子育て世代包括支援事業の概要説明
説明者：高松市保健センター長 みずた
（2）お産にまつわる知って欲しいこと
説明者：高松赤十字病院 第一産婦人科部長 後藤真樹
- 講演会 コウノドリに見る ここは押さえておこう妊娠・出産
～家族・かかりつけ医と共に歩む280日～
講師：りんくう総合医療センター産婦人科部長 萩田和秀
- 萩田和秀 ピアノライブ

内容：

○進行：高松市保健所 医師 藤川愛

14:02～14:06 主催者挨拶 高松市副市長 加藤昭彦

- ・医療を取り巻く環境 産婦人科医師の人材不足。周産期医療の充実が喫緊の課題。
- ・切れ目のない総合的な支援体制が求められており、高松市でも、ワンストップ拠点である「子育て世代包括支援センター」を設けたところ。
- ・本日は、高松赤十字病院第一産婦人科部長の後藤先生から講演いただくことは意義深く、周産期医療が充実することに期待。
- ・後藤真樹先生から「お産にまつわる知って欲しいこと」、萩田先生の講演のあとにはジャズピアニストとしてのピアノライブ。
- ・本講演会、申し込みから間をおかず定員に達し、みなさまの関心が深い。
- ・周産期医療、母子保険について理解を深める契機となりますように。

14:06～14:13 （1）妊娠期から子育て世代包括支援事業の概要説明

○説明者：高松市保健センター長 みずた

- ・コミュニティの希薄化など、
- ・少子化 30万人を下回ることも。若い世代が終了し、希望通り結婚、妊娠、出産できる社会環境を実現する必要がある。
- ・独身男女性の9割は結婚願望があり、欲しい子供の数は2人。子供を産み育てやすいまちづくりを実行していく必要がある。
- ・妊娠期からの子育て世代包括支援センターを設けることとした。桜町にある保健センター内に支援センターを設けた。
- ・母子保健コーディネーターの設置。全ての問題に対して、妊娠期から子育ての全ての期間。妊娠・出産・育児の切れ目のない支援。保健師の専門家による面談、一人一人のケアプランを作成。
- ・支援が必要な方々の早期発見につなぎたい。また、育児環境の把握、関係機関と連携し、協力

に支援、幼児虐待予防につなげていきたい。

- ・ 来年 1 月からは各地域にもセンターを設置していく予定。是非、ご利用ください。

14:13~14:42 (2) お産にまつわる知って欲しいこと

○説明者：高松赤十字病院 第一産婦人科部長 後藤真樹

- ・ 大阪医科大卒、平成 6 年より高松赤十字病院勤務。

○はじめに

- ・ 本日お話しする内容は、たくさんのお産のなかで時に起こる話だということを知って欲しい。
- ・ 例えば、一人目の出産が帝王切開で、二人目の妊娠で、全員が子宮にほころびが出来るわけではない。

○経膈（けいちつ）分娩（普通の出産）の流れ

- ・ 卵幕（らんまく）赤ちゃんを包む幕が破れていない、破水していない状態。
- ・ 普通は、下を向き、うつむいた状態で生まれてくる。
- ・ 最後は横を向いて膈から出きる。

○腹式帝王切開術

- ・ おなか、子宮を切り、赤ちゃんを取り出す。
- ・ 逆子の場合には、足からやお尻から出ることになる。
- ・ 子宮の筋肉を切るのが帝王切開。

○逆子だと

- ・ 頭が出てきにくい。
- ・ へその緒が分娩時に頭で圧迫され、血液不順、酸欠となりやすい。

○高松赤十字病院の 2015 年の総分娩数 680 例

- ・ 早産 54 例 8% 生まれてからの小児科のフォローが大事
- ・ 帝王切開 171 例 25.9% ← 日赤は救急病院であるので、一般尾産婦人科から移送されてくる妊婦産など、帝王切開の割合が多い

うち緊急帝王切開は 69 例

- ・ 逆子 30 例 うち経膈分娩 0 例
- ・ 既往帝王切開 75 例 うち帝王切開 70 例 経膈分娩 5 例

○初産

- ・ 最も多いのは 28 歳 次第に高年齢化してきている
- ・ 40 歳以上で自然分娩の方もいらっしゃるが、20 年ぶりに体外受精で妊娠といった例もある。
- ・ 帝王切開が 20% を越えるのが 34 歳、30% を越えるのが 37 歳、40% は 40 歳、経膈分娩と逆転するのは 42 歳

○35 歳以上の初妊婦における妊娠合併症の発症頻度

- ・ 高齢ほどリスクはあがってくる

○妊娠前の体格や妊娠中の体重増加は？

- ・BMIが18.5以下の人は、早産、低体重出生児が多い傾向がある
- ・BMIが25以上の人は、妊娠高血圧症、妊娠糖尿病などが多い傾向がある。
- ・インフルエンザの予防接種 全妊娠中も効果あり、授乳中も子供に影響は無いので接種する。
- ・手をよく洗う。調理で肉を扱う時、ガーデニング、猫のトイレの処置は、使い捨てのビニール手袋を使う。
- ・尿や唾液には感染のウイルスが含まれるので、子供のオムツをさわった後はよく手を洗う。
- ・赤ちゃんと歯ブラシは共用せず、口移して食べ物を与えない。
- ・性交渉もコンドームを使用する。
- ・妊娠中は、しっかりと肉には熱を通し、生野菜はよく洗うこと。
- ・病気が流行しているときは、外出を避け、外出時にはマスクを着用すること。

○妊娠中の放射線医療の影響

- ・受精後10日ぐらいで被爆しても影響はない。
- ・妊娠10週でも、退治被曝は、50ミリレム以下では奇形を発生させない。例えば、胸のレントゲンを撮ると0.01ミリレム以下であり心配は不要。

○たばこ 低体重児への影響

- ・すわない人 3.6%
- ・10本以下 6.0%
- ・それ以上 15.9%
- ・たばこは、低体重や早産、胎盤が早期にはがれてしまうなど異常につながりやすい

○胎盤早期剥離

- ・赤ちゃんの死亡にもつながりかねない
- ・たばこをすうことを減らすことで、早産や低体重児を防げる。出産後もたばこをやめましょう。
- ・受動喫煙：パートナーの喫煙はリスクを1.7倍にする。

○双体について

- ・分娩前の胎位が
 - 両児が頭位：経膈分娩
 - 片方が頭位
 - 両方が逆子：帝王切開
- ・逆子の出産の経験のある医師が減っているため、帝王切開で対応することも。

○妊娠中のシートベルト

- ・肩のベルトは、首にかからないように乳房の間を通し、腹部にあたらないように。
- ・横ベルトは、腹部にあたらないように出来るだけ低く、腰の位置に締める。

14:43~15:33 コウノドリに見る ここは押さえておこう妊娠・出産

~家族・かかりつけ医と共に歩む280日~

○講師：りんくう総合医療センター産婦人科部長 萩田和秀

- ・香川医大出身の先生。大阪警察病院など大阪の病院で勤務。

- ・産科医でありジャズピアニストの経歴。

○はじめに

- ・高松市を飛び出して25年。大阪出身なので、大学を出て大阪の病院で勤務。
- ・りんくう総合医療センター 医者が少なく、産科医を閉じようかという議論のなか、3つの病院を統合して運用。

○りんくう総合病院

- ・大阪の南の方に位置する。関西国際空港の橋のたもとにあり、外人の妊婦産も25%ぐらい。
- ・2015年 852例のうち208例が帝王切開
- ・背後に66万人、ヘリ搬送（広域）の患者さんに対応。
- ・産科のスタッフは13人ほど。

○ある患者さんの枕元 切迫流産の患者

- ・義母が様々な物を持ってくる

◇DHMOの恐怖：染料の主成分、液体のDHMOを呼吸器に吸引すると死亡。赤血球を破壊し、人体に蓄積される。特に妊娠後期の皮下に蓄積されやすい。

妊娠初期にDHMOを大量皮下

↓

DHMOとはH₂Oのこと

○メディアリテラシー

◇プロパガンダ

- ・恐るべし 猛毒ダイオキシン

シャム双生児が、ダイオキシンが原因だという研究成果はない

枯れ葉剤をまいた前後で、あの地域の双生児の発生率が変わったという文献はない

◇疑似科学

- ・血液型性格判断：A B O型血液占いは日本独自のもの ← 嘘です

◇都市伝説

- ・サブミナル効果

- ・ピアスを開けた穴の白い糸

- ・タクシーの幽霊（消えるヒッチハイカー）

- ・ミミズバーガー

- ・満月の夜には〇〇が多い 満月だからお産が多い、低気圧だからお産が多い ← 分娩に何の関係もない

満月、気温・気圧・湿度、潮の満ち引きはお産に何の関係もない

- ・環境ホルモンはどうなった！？

微量な化学物質が影響を与えたとの再現性はない。

- ・ウソではないかもしれないけれど、その効果や影響は・・・

○放射能の安全域

- ・成田～ニューヨークの飛行で0. 2ミリシーベルト
- ・水道水に規定の10倍以上の210ベクレルの放射性ヨウ素 → 影響が出るには、一日に5. 6リットル飲む必要がある。これだけの水を飲んだら、その水で死んでしまう。

○センセーショナルな学説にご用心

○あらためて・・・妊娠、出産ってなんでしょう？

- ・妊娠出産は人という種を維持・反映させるための生理現象。
- ・「嫁ハンをいたわってやりたい ダンナのための妊娠出産読本」

○コウノドリ

- ・医療ドラマではなく、ヒューマンドラマとして作る。
- ・細部にこだわったドラマで、俳優さんは全員出産を経験している。
- ・綾野剛など、俳優さん方が「現場の空気を吸いたい」と、うちの病院の見学に来た。
- ・俳優さんはたばこを吸う人が多いが、みんな「禁煙」していた。撮影現場には赤ちゃんがいるから、タバコの臭いはしなかった。

○今日の本題

- ・お母さんと子供をどうやって支援していくか。
民家に乳児、5遺体・・・多くの乳児、幼児虐待が

○未受診妊娠の年齢分布

- ・19歳、30代広範にピーク → 虐待死の年齢と一致する
- ・未受診になった理由 → 経済的理由ではなく、知識の欠如、情報や家族に恵まれないこと
- ・外来で来てもらわないと、何が問題なのか確認できない、支援できない。

○「赤ちゃんがかわいくない」と言いながら退院していった

- ・
- ・おかしいかな？と思ったら通告を 高松市にも相談窓口がある

○育児って？

- ・育児ホルモン
社会性ホルモン
- ・オキシトシン 子宮を収縮させる効果と、おっぱいを出す（射乳）ことに影響
- ・オキシトシン進化論：脊椎動物 魚、鳥、は虫類、ほ乳類には、オキシトシンが出ている。
- ・オキシトシンと夫婦関係
山に住むハタネズミ：家族を形成しない、発情期だけ交尾、縄張りに入った他の個体は排除
野に住むハタネズミ：家族を形成、分娩経験の無いメスも育児行動をする
山に住むハタネズミにオキシトシンを注射すると、家族を形成するようになった
- ・オキシトシンはつがい行動に必要なホルモンではないか
- ・オキシトシンは信用ホルモン

○子供の家庭環境とオキシトシン濃度

- ・ 厳しい家庭環境で育てられた子供は、オキシトシンの分布が少ない。

○オキシトシンはラブホルモン？

○オキシトシンの受容性を無くしたマウス

- ・ オスは攻撃的
- ・ メスは子育てしない
- ・ 子供は性格異常 おっぱいを欲しがらない
- ・ 個体認識能低下

↓

自閉症など、ホルモンで治せないか

○チャウシェスクの子供たち

- ・ ユーゴスラビア 独裁者のチャウシェスクが、人口が多いことが国の豊かさを形成すると、中絶を許さなかった → 孤児とストリートチルドレンが増えた → 育て直そうとしたが、うまくいかなかった

◇脳の発達と愛情 愛情を注がれてない子供は脳の発育に差が出る

- ・ 脳の発育に愛情が影響できるのは、2歳が臨海点
- ・ 脳の発育への愛情は、実の親であるかどうかは必要ない → 2歳までの子供を、養子として育てようという文化は日本には少ない
- ・ 欧米では、妊娠までに必ず一度は養子縁組みを話し合う文化がある。
- ・ 乳児院と特別養子縁組み 選択肢に含めて下さい。

○中枢でのオキシトシン

- ・ 社会性
- ・ 多幸感が増す
- ・

○オキシトシンが使えたら

- ・ 母乳が出にくい母親の改善
- ・ マタニティブルーの改善
- ・ ネグレクト・DVの改善
- ・

○オキシトシンは注射では効かない

- ・ 点鼻薬を多量に入れるか、脳組織に直接入れないと効かない。

○本当は怖い思いっきりガッテンあるある・・・

- ・ 様々なデマ、都市伝説に振りまわされないで下さい。

- ・ 明日のNHK 10:25~11:15 「プロフェッショナル」

・我々産婦人科がどういう生活をしているのか見てください。


16:40~16:01 萩田和秀 ピアノライブ

- ・アンコールを含め、4曲演奏。
- ・高松で演奏するのは26年ぶり その時に一緒に演奏していたメンバーです。

—以上—

“コウノドリ”から学ぶ 母子保健・地域医療啓発講演会

講師は、あの人気漫画『コウノドリ』の主人公のモデル！
産科医でジャズピアニストという異色の経歴が織り成す
講演&ライブ演奏！！



入場
無料

と き: 5月29日(日)
14:00~16:00 (開場13:00)

と ころ: 瓦町FLAG8階
IKODE瓦町 健康ステーション大会議室

定 員: 先着220名(事前申込制)
※お申し込み方法については裏面をご覧ください。

託児先着
25名

主催 高松市 お問い合わせ 高松市保健所地域医療対策室 TEL.087-839-3805
高松市保健所保健センター TEL.087-839-2363
後援 香川県医師会・高松市医師会・香川県産婦人科医会・香川県助産師会

プログラム

13:00 開場

14:00 主催者挨拶

14:05 プロローグ (1) 妊娠期からの子育て世代包括支援事業の概要説明
説明者: 高松市保健センター
(2) お産にまつわる知って欲しいこと
講 師: 高松赤十字病院 第一産婦人科部長 後藤 真樹氏

14:20 講演会 **コウノドリに見る
ここは押さえておこう妊娠・出産
～家族・かかりつけ医と共に歩む280日～**
講 師: りんくう総合医療センター産婦人科部長 萩田 和秀氏
—講師プロフィール—
1966年大阪府生まれ。香川医科大学卒業。大阪聖恵病
院、大阪府立母子保健総合医療センター、大阪大学医学部
博士課程修了などを経て現職。著書に『嫁ハンをいたわっ
てやりたい、旦那のための妊娠出産読本』(講談社+α新
書)がある。
産科医にしてジャズピアニストという異色のキャラクター
が人気を博す漫画『コウノドリ』の主人公のモデルとなっ
た医師。

15:20 休憩

15:30 ピアノ
ライブ **萩田 和秀 ピアノライブ**
Corroborated by SWJO Delicious Combo
トロンボーン 鶴井 厚二
バリトンサクソフ 長谷川 啓一
ベース 中山 勝史
ドラム 稲生田 純一
トランペット 関元 直登

16:00 閉会

★当日は混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お申し込み方法

入場希望の方は、下記申込先へ電話にてお申し込みください。
先着220名、1組2名までの受付とさせていただきます。
託児希望の場合は、あわせてお申し込みください。(託児は先着25名まで)。

◆申 込 先 : 高松市保健センター TEL.087-839-2363
※電話による申込受付に限らせていただきます。番号のおかけ間違いのないようご注意ください。

◆申込受付開始 : 平成28年5月6日(金)午前8時30分～
※受付時間は、月～金曜日の午前8時30分から午後5時15分までです。

事前申込制
入場無料
先着 220名